

熊本県の地産地消の推進に関する施策の報告

平成30年度(2018年度)の実績

(1) 県民の県内農林水産物等への理解の深化及び郷土愛の育成

郷土料理の伝承、「食育」及び「木育」に係る活動、各種広報を活用した県内農林水産物等に係る情報提供等を行い、県内農林水産物等に対する理解を深め、郷土愛を育む。

番号	事業又は取組名	平成30年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
1	くまもと地産地消利活用促進事業のうち「くまもと地産地消PR強化事業」	4,000
	<p>県民の地産地消への関心を喚起し、実際の地産地消行動に繋げることで、県産農林水産物等の消費を拡大するため、地産地消協力店とメディアを活用した効果的なPRや地産地消食材を使ったキャンペーンなどを実施した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のテレビ番組とタイアップし、大手量販店が実施する地産地消フェアを生中継(8回) ・県内10のホテルで地産地消フェアを実施(10月～12月) ・料理レシピフリーペーパーで県産食材を使用した地産地消レシピを紹介(大手スーパー等約200店舗に設置 7月～3月) 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
2	くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消サイト運営」	1,426
	<p>地産地消協力店に関する情報や、くまもと食・農ネットワーク運営委員によるリレーコラム、食の名人の料理レシピやイベント情報などの掲載の他、メールマガジンの配信(月2回)等で情報提供を実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>サイトアクセス回数:349,518件(H30.4～H31.3)</p>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
3	くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消交流会・フォーラム」	607
	<p>生産者から消費者まで地産地消の関係者を対象とした交流会「2019春地産地消のつどい」を開催した。食育に取り組む大学教授による講演や加工食品コンクールの入賞商品の展示及び試食会を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>開催日:平成31年2月18日 場所:ホテル熊本テルサ 参加者数:78名</p>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
4	くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「学校給食における地産地消普及事業(地域ブロック研修会)」	1,000
	<p>市町村の地産地消担当者、市町村教育委員会の学校給食担当者及び栄養教諭等を対象として、学校給食において地産地消を推進する意義・効果等について学び、活用促進に向けた体制整備等に係る実践的手法について学習する研修会を開催した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域本部単位で計4回開催(総出席者84名) 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>

	くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「地産地消モデル献立作成事業」	3,721
5	<p>学校給食における地場産食材活用を推進するため、栄養教諭が地産地消の献立を作成する際の参考となるよう、地域別の生産品目の旬の出荷情報等を踏まえた学校給食の年間モデル献立を作成した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5地域分(菊池、阿蘇、八代、球磨、天草)、計800部作成 ・関係機関へ配布(学校給食センター等287か所) 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
	卸売市場整備活性化事業のうち「拠点卸売市場活力アップ事業」	1,000
6	<p>地域拠点市場として、生鮮食料品等の供給体制の充実・強化を図るため、市場整備のあり方を含めた調査・研修会等を開催し、関係者の機運醸成を図った。また、市場を地産地消の拠点施設として位置付け、県産青果物等の料理教室や広報活動を行い、認知度アップと消費拡大を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>調査:2回、研修会:1回、料理教室:10回、広報活動:8回</p>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
	農林水産業・地域の振興推進事業のうち「くまもと農業フェア負担金」	1,964
7	<p>県民に本県の農畜産物を広くPRするとともに、「食の安全・安心」、「農業の多面的機能」等について理解を促進した。</p> <p>(実績)</p> <p>開催日:平成30年11月10日～11日</p> <p>場所:熊本県農業公園カントリーパーク</p> <p>参加者数:約30,000人(2日間合計)</p>	<p>農林水産部</p> <p>農林水産政策課</p>
	くまもとの米・麦・大豆魅力発信・競争力強化事業	1,562
8	<p>「くまもとのお米の本」を作成し、県内小学校等へ配布した。また、小・中学校及び高校生を対象に県産の米・麦・大豆をテーマとした料理講習会等を開催した。その他、「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの後援を実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>「くまもとのお米の本」配布:221校(13,900部)、小・中学生料理講習会:19校開催、高校生料理講習会:19校開催</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「食文化継承事業、郷土料理普及推進事業」	3,413
9	<p>各市町村における「くまもとふるさと食の名人」の持続的確保と活用を進めるとともに、「くまもとの食の技」記録映像(DVD)vol.3を制作し、食育教材として活用するため関係機関等へ配布した。</p> <p>(実績)</p> <p>食の名人新規認定者:25名、活動者総数:319名、活動回数:1,671回、対象者数:59,911人(うち学校関係257回、10,289人)、記録映像配布:120部</p>	<p>農林水産部</p> <p>むらづくり課</p>
	特用林産物流通促進事業	2,874
10	<p>山村地域の重要な換金作目である特用林産物の生産技術向上、流通・販売促進、普及啓発を目的としたイベントを開催した。</p> <p>(実績)</p> <p>「2018 くまもと しいたけ祭り」5月26日開催(来場者:1,800名)、「竹の日フェスタ2018 in 上通」7月7日～8日開催等</p>	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>

	県産材需要拡大消費者対策事業のうち「くまもと県産材総合PR事業」	878
11	前年に引き続きマスメディアを使ったPR事業を行った。 (実績) 木材関係事業者が組織する団体が主体的に実施する活動のうち、「熊本日日新聞(朝刊)」(計6回掲載)	農林水産部 林業振興課
	くまもとの木と親しむ環境推進事業	23,039
12	県産木材で作った木製遊具の貸し出し及び森林の役割や木のよさを伝える紙芝居や絵本の読み聞かせ等、全4事業を実施し、木と親しむ環境の普及啓発に取り組んだ。 (実績) ①木製遊具貸出等:40団体、ものづくり体験イベント:県内4箇所 ②県内の幼稚園・保育園、小中学校等への机・椅子等の木製品の導入に係る補助:19事業体 ③小学5年生社会科用副読本、中学技術家庭科用副読本の作成 ④木育インストラクター養成講座(初級・中級・上級)、くまもと木育のつどいの開催 ⑤木育の取組みを行う市町村等に対する補助:12団体	農林水産部 林業振興課
	漁村における「うみ・ひと・しごと」づくり推進事業のうち「地魚マスター活動支援」	84
13	17種類の代表的な県産水産物を紹介する「くまもと四季のさかな」のPR資材配布などを行い、県の水産物PR事業との連携を図ることで、くまもと地魚マスターの活動支援を行った。 (実績) ポスター等約90箇所にPR資材を配布	農林水産部 水産振興課
	ふるさとくまもと応援寄附金推進費のうち「感謝の品贈呈」	38,000の一部
14	「ふるさとくまもと応援寄附金」寄附者の方に県産品を「感謝の品」として贈呈した。 (実績) デコポン、くまもとの馬刺し等24品目を「2,564セット」送付	総務部 税務課
	スポーツによる地域活性化事業のうち「ロアツ熊本支援県民運動推進事業」	3,000
15	ロアツ熊本のホームゲーム開催時に、「火の国もりあげタイ！」の活動地域となる3市町村(熊本市南区、南阿蘇村、菊池市)に焦点を当てた「タウンデー」にて、当該市町村の物産展などを開催した。 (実績) 計3回開催	企画振興部 地域振興課

	「くまもと手仕事ごよみ」推進事業	7,297
16	<p>フェイスブック及びホームページ上で、四季折々の地域の伝統工芸、伝統食、伝統芸能等に関する情報発信を継続して実施し、コラム及び特集記事を掲載した。また、伝統技術を現代に生かす作り手を紹介する展示イベント「くまもとの風合い展」やワークショップを開催、合わせて「くまもと手しごと応援！企業」登録制度を通して、手仕事の普及啓発に取り組んだ。</p> <p>(実績) くまもとの風合い展(H30.8月開催)1127人来場、ワークショップ(年2回開催)計20人参加、くまもと手仕事応援！企業登録16社</p>	<p>企画振興部</p> <p>文化企画・世界遺産推進課</p>
	天草空港利用者に対する県産品の提供及びパンフレットの配布	(ゼロ予算)
17	<p>天草エアライン機内にて地域の県産品(加工食品を含む)を提供し、地域産業の振興を推進した。</p> <p>(実績) ①みかんちゃん(ジュース):19,889本 ②天草サブレ・くまモンクッキー:6,326個 ③イルカのたまご(菓子):2,166個 ④四郎の初恋(いちぢく餅):8,372個 ⑤うに豆:2,591個</p>	<p>企画振興部</p> <p>交通政策課</p>
	子どもの食育推進事業	1,563
18	<p>熊本県内の認定こども園及び地域子育て支援拠点施設において、調理実習、栄養相談、講話等を実施した(熊本県栄養士会に業務委託)。また、食育相談事業報告会を実施し、各地の食育の取組みを共有した。</p> <p>(実績) 調理実習等実施:11箇所</p>	<p>健康福祉部</p> <p>子ども未来課</p>
	健康食生活・食育推進事業における地産地消推進の取組	4,458
19	<p>「第3次県健康食生活・食育推進計画」に基づき、健康食生活・食育推進連携会議の開催や、熊本県民食生活指針の作成による食育実践行動の普及啓発に取り組んだ。</p> <p>(実績) くまもと健康づくり応援店指定店舗数 601店舗のうち、地産地消を推進する店舗数 367店舗</p>	<p>健康福祉部</p> <p>健康づくり推進課</p>
	「大型店の立地に関するガイドライン」による大型店への協力要請	(ゼロ予算)
20	<p>特定大型店の新設、増床に伴う「地域貢献計画書」の届出において、地産地消への協力姿勢の提示を求め、大規模小売店舗立地法に係る新設の届出のあった大型店に対し、県の意見を通知する際に、地域貢献策(県産品の販売促進・需要拡大への協力)への取組みを要請した。</p> <p>(実績) 地域貢献計画書提出:1店舗 要請実績:8店舗</p>	<p>商工観光労働部</p> <p>商工振興金融課</p>

21	熊本の「食」を活用した誘客促進事業	15,000
	<p>食事をしながら観光地や食材の産地を巡る、レストランバスと各地域の飲食店や観光地をタクシーで巡る「くまもとグルメタクシー」の運行を行い本県の食の魅力を活用した誘客促進を図った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランバス: 県内全域7コースを22本運行 ・くまもとグルメタクシー: 5事業者により、5コースを運行 	<p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>
22	庁舎ロビーへの県産品展示	(ゼロ予算)
	<p>県庁本館1階ロビー受付横の展示ケースに、海苔等の農林水産物や球磨焼酎等の県産酒、太平燕等の加工食品、天草陶磁器等の伝統工芸品の展示を行い、県産品の魅力をアピールした。</p> <p>(実績)</p> <p>庁内ロビー展示: 通年</p>	<p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>
23	「がんばろう！熊本」観光復興事業のうち「交通事業者、旅行会社等と連携した誘客促進事業」	36,849の一部
	<p>JR西日本「リメンバー九州キャンペーン」(通年)及び、JR九州「列車でいきなり熊本ばけション」(7月～9月)において、パンフレットやTVCMで熊本の「食」を紹介した。</p> <p>また、クーポン付パンフレット「くまもつとグルメ」を作成し、関西以西の道の駅等で配布した。</p> <p>(実績)</p> <p>期間: 平成30年7月15日～9月30日</p> <p>仕様: 5万部</p> <p>配布: 関西以西の道の駅、SA、空港等300か所</p>	<p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>
24	食育推進事業	283
	<p>望ましい食習慣の形成を目的とした学校における食育の推進を図る中で、学校給食における「ふるさとくま(熊)さん(産)デー」の取組み及び郷土料理提供等により、地場産物の活用を促進し、身近な地域はもとより県内の自然や食文化、産業についての関心・理解を深めるとともに、郷土を愛する児童生徒の育成を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>ふるさとくま(熊)さん(産)デーを毎月19日を目途に実施</p>	<p>教育庁</p> <p>体育保健課</p>

(2) 県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大

県内の物産館、直売所及び量販店等における県内農林水産物等の販売促進活動を支援し、県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大を図る。

番号	事業又は取組名	平成30年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
25	くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「学校給食における地産地消普及事業(アドバイザー招聘支援事業)」	3,000
	<p>学校給食における地産地消の推進に取り組む市町村を支援。なお、取組をより実効性のあるものとするため、学校給食における地産地消の体制づくりの専門家を招聘して実施することを必須条件として実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>支援数: 4市(菊池市、山鹿市、八代市、上天草市)、2町(高森町、山都町)</p>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>

	くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「学校給食向け県産食材流通モデル実証事業」	4,000
26	<p>学校給食へ地場産品を安定的に供給できる流通体制を構築するため、調整役となる地域の直売所等の中間組織を核とした流通モデル構築の支援を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>広域本部単位2地域で実施。</p> <p>事業主体:(県央)熊本宇城農業協同組合、(県南)八代地域物産館連絡協議会</p>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
	販促資材等の配布による直売所支援	(ゼロ予算)
27	<p>地産地消啓発チラシ等を配布するとともに、地産地消サイトによる情報発信支援等を行った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くまもと農業フェア」(H30.11開催)において地産地消啓発チラシを配布。 ・地産地消協力店約250店舗に「旬のカレンダー」を送付。 	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
	新規需要米総合推進事業のうち「米粉普及定着対策」	22,539の一部
28	<p>米粉インストラクターを派遣し、消費者向け米粉料理教室を開催。その他、米粉インストラクター研修の実施や、くまもとの米粉HP、FBで県産米粉の情報発信を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>米粉インストラクター派遣:7箇所、料理教室:2回、米粉インストラクター研修:1回</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	県産麦パートナー強化推進事業	3,080
29	<p>生産者、製造・販売業者による連携体制を構築し、高品質麦生産に一体となって取り組むとともに、小麦ではミナミノカオリを原料とした商品の開発や料理のPR、大麦では産学官が連携した商品開発や料理のワークショップを行い、県産麦の需要拡大を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>実需と連携した生産の取組:4地域、県産小麦新商品の開発:2点、小麦関連PRイベント開催:6回、大麦関連イベントの開催:12回</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	くまもと茶ビジネス確立支援事業	6,948
30	<p>広報媒体によるPR及びイベント・キャンペーンの開催を推進するとともに、県外実需者への販促活動に取り組み、県産茶の流通の促進及び消費の拡大を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>イベント出展:3回、キャンペーン:1回</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	いぐさ産地総合支援事業	13,275
31	<p>各種展示会で県産畳表の紹介、PRを実施した。本年は県内の交通拠点において、県産畳表を使った畳ベンチの増設・張替えを実施した。また、県内外の業者等に産地の状況やいぐさの機能性等について周知した。さらに、新品種を含む県奨励品種の育苗配布を実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>パンフレット2,000部配布、畳ベンチ設置・張替え7カ所46台</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>

	「毎日くだもの200グラム運動」の啓発活動支援	885の一部
32	<p>尚綱大学栄養科学科学生を対象に、くだものセミナーを開催した。また、情報誌「リビング熊本」を活用した県内消費者への啓発を実施した。その他、県内幼稚園・保育園等へのみかん・果物の情報提供を行った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー参加者 29名 ・情報誌「リビング熊本」への掲載 6回/年 ・みかん・果物の情報提供 県内幼稚園・保育園等100園(園児11,220名) 	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	一般社団法人熊本県野菜振興協会が実施する産地育成事業	2,415の一部
33	<p>新技術・新品目等の導入展示ほを設置し、試作検討を実施した。また、野菜PRを目的とした野菜ソムリエ育成事業により、県内生産者のソムリエ資格取得と育成を実施した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示ほ設置:5箇所 ・野菜ソムリエ育成:H30年度資格所得支援 5名、研修会(3月) 30名参加 	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	くまもと花っていいよね。キャンペーン活動への支援(花き協会補助事業)	1,604の一部
34	<p>小中学校等を対象とした出張フラワーアレンジメント教室、父の日や母の日、敬老の日等における花きの贈呈や市電の装飾等のイベント活動、良い夫婦の日にちなんだ県内テレビ番組のスタジオ装飾を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>フラワーアレンジメント教室開催:11校</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	くまもとの花生産流通推進事業のうち「新たな需要開拓・情報発信強化事業」	11,188の一部
35	<p>毎月7、8日を「くまもと花の日」とし、情報発信と県産表示を実施した。また、業務需要を開拓するため、ホテルロビー等での県産花きを用いた装飾を実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>「くまもと花の日」の実施(毎月1回)、ホテルロビー等での装飾実績:ホテル4社</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「熊本県産銘柄豚生産流通対策事業」	771
36	<p>HP等を活用した販売情報等の提供、広報宣伝を行い、消費拡大・認知度向上に取り組んだ。また、生産体制強化検討会を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>生産体制強化検討会開催</p>	<p>農林水産部</p> <p>畜産課</p>
	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「熊本県産地鶏生産流通対策事業」	1,392
37	<p>販促資材の作成・配布、イベントでのPR活動、県HP等を活用した販売情報等の提供を行った。また、生産体制強化に係る生産者指導、ブランド力向上検討会を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>生産者指導8回実施、ブランド力向上検討会2回開催</p>	<p>農林水産部</p> <p>畜産課</p>

	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「食肉流通体制強化推進事業」	2,100
38	<p>販促資材の作成・配布、イベントへの出展、新聞、フリーペーパー等の媒体を活用した広報活動、HPにおける県産牛肉のPR及び販売店の紹介、牛肉キャンペーンを実施した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPアクセス数:約4,100件、キャンペーン応募総数:約2,400通 ・推奨銘柄の1つである「くまもとあか牛」について、県内の食品として初めて地理的表示(GI)保護制度に登録され、地域ブランド製品としてさらなるPR強化を図った。 	<p>農林水産部</p> <p>畜産課</p>
	くまもとジビエ活用支援事業(うち県単事業)	3,285
39	<p>鳥獣被害防止対策の一環で捕獲したシカ及びイノシシの肉の有効活用を図るため、「くまもとジビエコンソーシアム」を核として、安全で質の高いジビエの流通促進と消費拡大に係る取組みを行った。</p> <p>(実績)</p> <p>県内外くまもとジビエフェアの開催(73店舗参加)、ICT活用による生産履歴の明確化。</p>	<p>農林水産部</p> <p>むらづくり課</p>
	くまもと県産木造住宅づくり復興推進事業	37,025
40	<p>木造住宅を新築する者、事業所など不特定多数の者が訪れる建物を新築又はリフォームする者に県産木材及び県産緑化木を提供することによりその良さを周知啓発し、木材の需要拡大を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>県産材提供件数:住宅131棟、事業所4棟</p>	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
	くまもとの木の空間づくり支援事業	2,210
41	<p>県産木材を使用した内装木質化などのリフォーム、リノベーション及び新築等に対して、設計費及び木材費(県産木材に限る)を助成した。</p> <p>(実績)</p> <p>提供店舗数:3棟</p>	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
	木を活かした景観づくり支援事業	7,265
42	<p>多くの県民が利用し、又は目に触れる公共的空間(観光地や商店街など)に、県産木材を使用した建築物、案内板、標識などの設置又は補修(県産木材を使った補修に限る)をすることにより、実施地域における一定の広がりのある統一景観(町並み、自然、歴史及び文化的空間)の形成を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>実施件数:12件</p>	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
	漁村における「うみ・ひと・しごと」づくり推進事業のうち「くまもと四季のさかな推進活動」	1,422
43	<p>「くまもと四季のさかな」の認知度向上のため、県主催のPRイベントを実施したほか、PR資材を鮮魚店等に配布し、効果的なPRを行った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまもとの魚まつり2019開催(H31.2) ・PR資材配布 鮮魚店等約180箇所 	<p>農林水産部</p> <p>水産振興課</p>

44	職員住宅畳替えに伴う県産いぐさの利用	6,010の一部
	平成30年度の東町職員住宅の畳表替え(456枚)及び本渡港町住宅の畳表替え(400枚)について、県産イ草を使用するよう仕様書に明記し消費拡大を図った。 (実績) 畳表替え:856枚	総務部 総務厚生課
45	水前寺二丁目宿舎畳表替えに伴う県産いぐさの利用	1,079の一部
	水前寺二丁目宿舎の入退舎等において、畳表替えの必要が生じた場合は、仕様書に県産イ草を使用するように明記し、消費拡大を図ることとしている。 (実績) 平成30年度は、二丁目宿舎での畳表替えの必要がなかったため実績なし。	総務部 財産経営課
46	社会福祉施設の人員、設備及び運営の基準等に関する条例に基づく地産地消の推進	(ゼロ予算)
	県内の社会福祉施設の監査の際に地産地消の実施状況について確認し、未実施の施設に対しては、地産地消の取組みに努めるよう助言を行った。 (実績) 社会福祉施設101件に監査を実施	健康福祉部 健康福祉政策課
47	県産品販路開拓事業のうち「くまもと物産フェア事業」	900
	県産品の販路拡大を図るため、商工団体と農林水産団体が連携し、県下最大級の食のイベントとして、H30.11.3~4の2日間、第23回くまもと物産フェアを開催した。 (実績) 来場者数:約20,000人、出店事業者数 約240団体	商工観光労働部 観光物産課
48	マーケット拡大支援事業のうち「くまもとの酒消費拡大推進事業」	5,856
	県内酒造関係団体が主体となって行う、大都市での販路開拓や県産酒PRの取組み、県が新たに開発した酒米「華錦」使用銘柄のPR活動を支援した(団体への補助)。 (実績) 補助実施:2団体	商工観光労働部 観光物産課
49	公営住宅維持補修事業のうち「県営住宅畳替え工事」	508,318の一部
	更新時期に至った畳(畳床及び畳表)の取替えにおいて、県産いぐさ畳表を使用した。 (実績) 県営八島団地、県営江津湖団地 住戸数161戸 2,035.5畳	土木部 住宅課
50	公営住宅ストック総合改善事業のうち「住戸改善工事」	283,971
	住戸内のバリアフリー化を行う「住戸改善工事」において、段差解消を行う床の一部を県産木材とした。 (実績) 西戸島団地:22戸、八島団地:19戸、東本町団地:28戸、大江団地:8戸、渡瀬第2団地:4戸、武蔵ヶ丘団地:26戸、須屋団地:7戸	土木部 住宅課

51	市町村事業の受託による「災害公営住宅整備事業」	2,326,526の一部(H29繰越)
	県が市町村から受託した災害公営住宅については、県産材使用を仕様書等に明記し、県産木材や県産いぐさ畳を使用した。 (実績) 整備戸数:105戸	土木部 住宅課
52	患者給食材料の購入	97,612の一部
	給食業務委託に際しての仕様書において、一部食材については、熊本県産又は熊本県内製造品を使用し、その他の食材についても、可能な限り熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努めるよう規定した。 (実績) ・給食材料のうち、米、鶏卵については熊本県産品を使用。練り製品、牛乳乳製品、豆腐類、パン類及び醤油・味噌・酒類については、熊本県内製造の食材を使用。 ・その他の食材についても、可能な限り、熊本県産又は熊本県内製造の食材を使用。	病院局 総務経営課
53	警察施設維持管理事業	13,460の一部
	県産いぐさ畳による宿舍の畳表替えを実施した。 (実績) 畳表替え:41戸605畳35半畳	警察本部 会計課

(3) 経済循環及び地域活性化

農林水産業と商工業、観光産業、学校等多様な産業又は組織との連携等により、県内農林水産物等を活用した加工商品の開発やイベントの開催等を行い、地域経済の活性化を図る。

	事業又は取組名	平成30年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
54	くまもと6次産業化総合支援強化事業	158,900の一部
	農産加工施設整備や商品開発及び商品力向上支援、販路拡大支援等、6次産業化に取り組む生産者の発展段階に応じた支援を行った。 (実績) 熊本6次産業化サポートセンターの設置、加工施設整備支援(国庫1件、単県13件)	農林水産部 流通アグリビジネス課
55	6次産業化商品魅力発信事業	2,970
	地域に存在する6次産業化商品を磨き上げ、商品を都市圏に向けて情報発信した。 (実績) ・くまもと「食」「農」アドバイザー小泉武夫氏を市町村へ派遣:2箇所 ・全国発酵食品サミット・フェアへの参加:1回	農林水産部 流通アグリビジネス課

	くまもと地産地消活用促進事業のうち「地産地消協力店の指定」	1,462
56	各関係機関を通じたチラシの配布や、イベントへの出展による周知・募集、ラジオ・HPなども活用して応募を推進するとともに、各地域振興局など関係機関の協力も得て未指定店舗への要請、勧誘を行った。 (実績) 協力店数:750店舗(H31.3時点)	農林水産部 流通アグリビジネス課
	新規需要米総合推進事業のうち「米粉需要開拓対策」	22,539の一部
57	県産米粉を活用した商品の開発やPR等、販売促進を実施する県内事業者への支援を行った。また、学校給食での県産米粉の活用を推進するため米粉料理のレシピ集を作成した。 (実績) 米粉需要開拓対策支援:2団体、学校給食での米粉料理レシピ集の配布:学校給食所属校及び栄養教諭・学校栄養職員(454部)	農林水産部 農産園芸課
	加工原料米多収化推進事業	10,146
58	自立的な生産体制の確立に向け、地元産焼酎原料米を生産した農家に対し、多収性品種の作付け面積、出来高に対する助成を行った。全面積が多収性品種に転換した。 (実績) 生産面積:114.7ha(72.4ha増)、生産数量:669.2t(448t増)、契約蔵元数:18(2増)	農林水産部 農産園芸課
	女性農業者等元気づくり事業	3,368
59	地域チャレンジ活動支援として、農業理解活動や新たな加工品開発、6次産業化に伴う農業経営の高度化支援を行うとともに、農山漁村女性活躍表彰を実施した。 (実績) 地域チャレンジ活動支援:1個人、10団体、表彰:熊本県知事賞1個人、奨励賞2団体	農林水産部 農地・担い手支援課
	ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「食の名人」ブランド化事業」	284
60	「くまもとふるさと食の名人」のブランドマーク(7区分)について商標登録を確定し、食の名人のPR活動やふるさと食のビジネス化に活用した。 (実績) ロゴマークの利用申請数:12件	農林水産部 むらづくり課

61	<p>公共施設・公共工事における県産木材の利用推進本部会議</p> <p>県が行う公共施設・公共工事等において、可能な限り県産材の利用推進を図り、関連する取組みを市町村や関係機関、ひいては県民まで波及を図るため、以下の事業に取り組んだ。</p> <p>(1) 公共施設における木材利用の推進 学校施設・社会福祉施設・社会教育施設・運動施設・公営住宅・庁舎等の木造化、県及び市町村施設の内装木質化に向けた普及</p> <p>(2) 公共工事における木材利用の推進 仮設防護柵、型枠、工事看板等での利用</p> <p>(3) 備品や消耗品等における木材利用の推進 間伐材を利用したコピー紙の利用</p> <p>(実績) 推進本部会議:H30.10開催</p>	<p>(ゼロ予算)</p> <p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
62	<p>資産の有効活用(県有施設における自動販売機設置事業者の選定)</p> <p>15件の自動販売機設置事業者の公募を実施し、設置場所が県庁プロムナードの分については、販売する商品の6割以上が地産地消商品との条件を付して募集を行った。また、すべての設置場所で地産地消商品を優先的に取扱うよう募集要項に記載し、消費拡大を図った。</p> <p>(実績) 自動販売機の設置件数15件</p>	<p>(ゼロ予算)</p> <p>総務部</p> <p>財産経営課</p>
63	<p>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「交流促進の取組」</p> <p>市町村や地域住民による地域の食や文化等の資源を活用した取組みに対する補助を行った。</p> <p>(実績) 補助:25件 72,964千円</p>	<p>183,000の一部</p> <p>企画振興部</p> <p>地域振興課</p>
64	<p>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「コミュニティ・ビジネス起業化の取組」、「地域のしごとおこしの取組」及び「農業の地域資源(宝)活用の取組」</p> <p>農産物を活用した加工品開発や高付加価値化等の取組みに対する補助を行った。</p> <p>(実績) 補助:4件 4,219千円</p>	<p>183,000の一部</p> <p>企画振興部(・健康福祉部)・ 農林水産部</p> <p>地域振興課(・健康福祉政策課)・農業技術課</p>
65	<p>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「企業等による地域づくり応援の取組」</p> <p>地域住民自らによるチャレンジだけでは解決できない地域課題に対して、企業等の民間事業者がビジネスの手法を活用して行う、地域住民や市町村による地域づくり活動を応援する取組み(特産品の販路開拓や農作物を使った製品の商品化等)への支援を行うこととしている。</p> <p>(実績) 市町村や地域住民に対し募集を実施するも、実績なし。</p>	<p>183,000の一部</p> <p>企画振興部</p> <p>地域振興課</p>

	公益財団法人水俣・芦北地域振興財団地域振興事業	(ゼロ予算)
66	水俣地域で生産される地紅茶のブランド推進を図った「九州和紅茶サミットin水俣」の開催支援。芦北・水俣地区の余剰・未活用食材の利活用をテーマとして、大野そばのそば粉を使った「あしきたガレット(そば粉のクレープ)」の商品開発事業の支援を行った。 (実績) ・「九州和紅茶サミットin水俣」(11月3日開催)の支援 ・「あしきたガレット(そば粉のクレープ)」商品開発支援	企画振興部 地域振興課
	水俣・芦北地域産業振興と雇用創出事業	55,033の一部
67	地域の事業者の販路拡大を図るための展示商談会出店の支援、アボガドの実証栽培の実施、和紅茶のブランディング支援、マガキ養殖の調査・研修・販売支援等を行う水産資源のブランディング支援、地元林産材の活用推進等の取組みを行った。 (実績) 展示商談会出展支援(6社)、アボガドの実証栽培、和紅茶のブランディング支援、水産資源(マガキ等)のブランディング支援等	企画振興部 地域振興課
	自然共生型産業創出支援事業	6,324
68	コーディネーターの配置や専門家の派遣により、バイオ関連企業、食品関連企業等が抱える技術課題や事業化ニーズの把握、商品化に向けたブラッシュアップ等の支援を実施した。 (実績) 支援企業実績:20社	商工観光労働部 産業支援課
	「食と健康」産業創出支援事業	3,299
69	健康志向の高まりから、今後成長が期待される付加価値の高い健康志向食品等の販路開拓を支援するため、首都圏で開催される展示会への出展を実施した。また、機能性表示食品等に関する研修会を開催し、県内企業の製品の差別化や販路拡大を支援した。 (実績) 出展:1回、機能性表示食品等に関する研修会 3回	商工観光労働部 産業支援課
	加工技術向上事業及び農商工連携推進事業	635
70	県産農産物を活用した売れる商品づくりを支援するため、商品計画、加工技術、品質管理の向上のための研修指導等を実施した。 (実績) 食品加工技術研修会:2回、技術相談及び指導:375回	商工観光労働部 産業技術センター
	農産加工研究開発事業(特別支援事業)	2,220
71	県産農産物、加工食品の安全・安心及び品質管理のため、殺菌技術に関する研究を行った。また、県産クリの表面付着菌に対して2種類の殺菌剤処理を実施し殺菌効果の検証を行ったほか、カンキツ加工品の加熱殺菌処理を行い、長期保存中の物性変化及び衛生指標菌検査を実施した。 (実績) 殺菌技術に関する研究、県産クリの表面付着菌に対する殺菌効果の検証、加熱殺菌処理後の長期保存中の物性変化及び衛生指標菌検査	商工観光労働部 産業技術センター

	熊本県食料産業クラスター協議会	(ゼロ予算)
72	熊本県食料産業クラスター協議会が開催する食農連携推進企画運営会議及び講演会に参加し、アドバイザーとして支援を行った。 (実績) 支援回数:2回	商工観光労働部 産業技術センター
	農商工連携推進事業	(ゼロ予算)
73	熊本県農商工連携推進協議会において、農商工連携の活性化について各機関が連携して事業者への支援を行うため、支援状況の情報交換を行うなど、連絡体制の強化を図った。 (実績) 熊本県農商工連携推進協議会支援等調整部会(1回開催)での情報交換等を通して連絡体制を強化	商工観光労働部 観光物産課
	マーケット拡大支援事業のうち「プレミアム商品開発支援事業」	1,426
74	首都圏で品質にこだわった商品を取扱う「(株)こだわりや」と、県内事業者が連携して取り組む新商品開発等の取組みを支援するとともに、H31年3月に(株)こだわりやの店舗においてくまもとフェアを開催した。 (実績) くまもとフェア参加店舗:40店	商工観光労働部 観光物産課
	マーケット拡大支援事業のうち「新商品開発・テストマーケティング支援事業」	988
75	産業技術センター等の支援を受け、農商工連携により新商品を開発し、テストマーケティングを行う事業者を支援した。 (実績) 補助:4件	商工観光労働部 観光物産課
	物産振興事業のうち「物産館運営事業」	7,695
76	季節感や地域性、話題性を打ち出したフェア、県産品のお中元やお歳暮の販売促進及び展示販売等を実施した。また、県内及び県外の物産展やイベントに出展し、県産品の展示販売を行った。 (実績) 物産展等への出展:23回	商工観光労働部 観光物産課

(4) 農林水産業が果たす多面的機能の再認識

農林水産業及び食に関する体験イベント等を通じて、都市住民と農山漁村住民、生産者と消費者の交流活動を促進し、農林水産業が果たしている多面的機能（国土や自然環境の保全、水源の涵養、癒しの場等）への再認識を図る。

番号	事業又は取組名	平成30年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
	くまもと地産地消活用促進事業のうち「くまもと食・農ネットワーク活動への支援」	435
77	9月4日に総会と研修会を開催した。研修会では「食をつなげる」をテーマに、熊本地震発生時、避難所運営において食を通じて被災者や子どもたち、地域の方々を元気づけられた元校長の講演。また、地方の直売所から特産品を都市部に売り込んだ事例発表を行った。 (実績) 研修会参加者:62名	農林水産部 流通アグリビジネス課

	地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「県民理解の促進・消費拡大推進事業」	17,268の一部
78	地下水と土を育む農業の理解促進のため、地下水と土を育む農畜産物収穫祭を開催し、くまもとグリーン農業表彰や地下水と土を育む農畜産物を用いた料理の提供等を行った。また、小学校3・4年生用に社会科用副読本を作成し県内の小学校へ配布した。 (実績) 収穫祭参加者:158名	農林水産部 農業技術課
	地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「くまもとグリーン農業推進事業」	16,736の一部
79	くまもとグリーン農業農産物を購入した方へ、抽選でくまもとグリーン農業及び地下水と土を育む認証農畜産物をプレゼントするくまもとグリーン農業応援キャンペーンを実施した。 (実績) キャンペーン応募総数:4,351件	農林水産部 農業技術課
	都市農村交流対策事業	3,911
80	地元食材等を活用した都市と農村との交流等、農山村の集落維持・再生に貢献できる交流活動を支援した。 (実績) 補助:1市	農林水産部 むらづくり課
	中山間地域サポート推進事業のうち「田んぼの学校」	3,000
81	将来を担う子どもたち等を対象とした農業・農地及び土地改良施設の多面的機能に対する理解向上に役立つ交流活動に対し、支援を行った。 (実績) 補助:7市町村13団体	農林水産部 むらづくり課
	中山間地域サポート推進事業のうち「棚田ツアー」	2,000
82	都市部の参加者と地元住民の交流を通じて棚田のすばらしさと現状を伝え、県民の棚田保全への理解を深める活動に対し、支援を行った。 (実績) 補助:4市町村5団体	農林水産部 むらづくり課
	地域の縁がわづくり推進・支援事業	3,381
83	情報交換会を開催し、地域の食材を活用した配食・会食サービス等に取り組む地域の縁がわの事例を紹介した。 (実績) 開催回数1回(参加者152名)	健康福祉部 健康福祉政策課
	地域福祉総合支援事業	28,192の一部
84	地域の縁がわ等の整備や、地域の縁がわ等における地域の食材を活用した配食・会食サービス等に対して助成を行った。 (実績) 補助:21団体	健康福祉部 健康福祉政策課

(5) 条例の周知、意識啓発等、条例の直接的な推進に係る取組

番号	事業又は取組名	平成30年度最終予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部・課
85	くまもと地産地消推進庁内連絡会議	(ゼロ予算)
	「くまもと地産地消推進庁内連絡会議作業部会」において地産地消推進関係施策について意見交換を実施するとともに、「くまもと地産地消推進庁内連絡会議」にて県議会報告内容について検討を行った。また、平成29年度の取組実績、平成30年度の計画について、関係者へ情報提供を行った。 (実績) 作業部会での意見交換(H30.4)、連絡会議において県議会報告内容を検討(H30.5)、関係者への情報提供(H30.7)	- 流通アグリビジネス課 (及び連絡会議構成課)
86	様々な広報媒体を活用した県民への条例周知	(ゼロ予算)
	県庁ホームページや県地産地消サイトに条例や地産地消に関する情報を掲載、発信するとともに、様々な広報媒体を活用して県民への条例の周知・浸透と地産地消の意識醸成に取り組んだ。 (実績) ・県政ラジオ番組での意識啓発:1回 ・地産地消メールマガジンの発行:毎月2回	農林水産部 流通アグリビジネス課
87	イベント等での条例の周知及び情報発信	(ゼロ予算)
	県内の各種イベントに地産地消の条例周知と推進を目的としたブースを出展し、来場者に対して広く情報発信を行った。 (実績) 県庁地下展示ブース展示(H30.6)、農業フェアブース出展(H30.11)	農林水産部 流通アグリビジネス課